

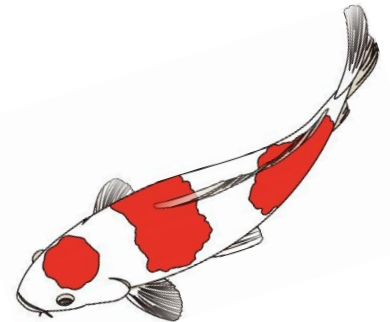
小千谷市

学 び の 多 様 化 学 校

小千谷市立小千谷中学校上ノ山分校

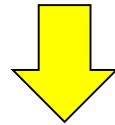
開校にかける願い

小千谷市教育委員会

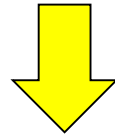


# 「不登校」に対する基本的な考え

不登校は問題行動ではない⇒誰にでも起こり得るのが「不登校」である。



・社会的に自立することを目指す⇒目指すのは「社会的自立」



・一人一人に合った支援をする⇒必要なのは「学びの保障」

・不登校対策の充実を図る⇒様々な選択肢の提供

## 学びの多様化学校とは

学校に行きづらさを感じ、思うように登校できない子どもたちの状況や特性に配慮しながら、一人一人に合った学びを提供するために文部科学省が特別に指定した学校のことです。

学びの多様化学校では、通常の学校で行われている教育課程(カリキュラム)ではなく、子どもたちの状況に応じて、柔軟で多様な教育課程のもと、教育活動が行われます。

## 開校の目的

開校の目的は、不登校や不登校傾向の生徒に対して、安心して学べる環境を提供することです。子どもたちが自分のペースで学び、成長できる場所を提供することで、全ての子どもたちが持つ可能性を引き出します。

## 安心できる学び

- 学び直しの場の設定
- 一人一人の学習状況に応じた最適な学習支援
- 少人数指導による細やかな配慮

## つながる場

- 安心して自己開示できる仲間づくり
- 協働で学び合う学習の設定
- 地域、多世代との交流

## 広がる体験

- ワクワクする体験学習の充実
- 夢や希望につながる探究活動
- 未来を描くキャリア体験活動

## 4つの特色

### ① 校時表の工夫

始業時刻を9:30に遅らせ、登校へのハードルを下げます。1単位時間は45分間、1日5時間授業とし、負担感を軽減します。

### ② 個に応じた支援

個別支援計画に基づいた丁寧な支援を行い、定期的な保護者面談で学習や生活のようすについて共有します。

### ③ 生徒に寄りそう支援体制

登校しづらい生徒を支援する拠点を校内に設け、相談体制を充実します。また、伴走的支援のための職員研修を充実します。

### ④ 新しい教科の設置

体験中心の「フィールドタイム」、マイペース学習の「マイスタディタイム」、関係性づくりの「ふれあいタイム」を新設します。

## ① 新設教科「マイスタディタイム」

基礎的な学習や興味のある学習に取り組みながら、一人ひとりの状況に応じて最適な学習支援を行う。

一人一人の能力に応じ最新のICT教材ソフトを活用する。

## ② 新設教科「フィールドタイム」

小千谷の自然豊かな環境を生かした体験活動や探求活動を取り入れ、生徒が主体的に学び体験する。

例：キャンプ活動、民泊体験、畑作体験、陶芸活動、サイエンス体験のほか魅力あふれる自然体験・探求活動など



## ③ 新設教科「ふれあいタイム」

将来を見据えてキャリア教育の視点を大切にしながら、ボードゲーム等、楽しくコミュニケーション能力を高める活動を編成する。

## 1日の流れの例

〈活動〉	〈時間〉
朝の会	9:30~09:35
1限	9:40~10:25
2限	10:35~11:20
3限	11:30~12:15
昼食・昼休み	12:15~13:00
4限	13:00~13:45
5限	13:55~14:40
帰りの会	14:45~14:55



## 指導上の工夫

(学校という概念にとらわれない)

- ・通知表は廃止、宿題は無しとする。
- ・服装等は自由とする。(制服や私服など自由に選択)
- ・学校の規則は、原則無しとする。
- ・「個別指導計画」を作成し、一人一人に応じた支援を行う。
- ・カウンセラーが常駐し、いつでも相談に乗ってくれる。
- ・生徒がリラックスできるスペースがある。
- ・一人一人に能力に応じたICT教材ソフトを活用する。
- ・できる限り登校のハードルを下げて、興味のある授業や体験活動・探求活動だけ受けにくることも出席とする。